

社会福祉法人 紫野福祉センター

平成23年度 事業報告書

## 【目次】

I. 法人概況 .....	2
一 概要 .....	2
二 事業計画の重点に対する達成評価 .....	4
II. 各部門別報告 .....	6
A. 法人事務局 .....	6
B. 点字出版施設「紫野点字社」 .....	7
C. 盲人ホーム美鈴 .....	9
D. 京都盲人三療技術指導所 .....	10
E. 中途失明者巡回生活指導員派遣事業 .....	12
F. 障害者支援施設「洛西寮」 .....	13
III. 主催行事 .....	27
IV 共催事業 .....	30

# I. 法人概況

## 一 概要

- ① 本年度は、未曾有の東日本大震災直後の被害状況が日々拡大する中で新年度を迎えた。

注目された「障害者制度改革推進会議」後の成果を踏まえた平成25年8月を目途にした新法制定の動きは、財政難や政治的な力関係などにより、当事者の期待を裏切り「障害者自立支援法」の一部改正という結果に留まった。障害当事者の多くが制度の抜本的な改革に期待を膨らませていただけにその関係者の失望は大なるものであった。

- ② 本法人が新たに新築する事業所については、年度当初の時点では視覚障害三療家の安定した事業運営を最優先して、就労継続支援 B 型事業所をめざしたが、京都府、京都市との協議の結果、就労継続支援 A 型事業所へ変更した。その主たる理由は、京都市を通じて国からの建設補助金をより確実に得ることを最優先したことであった。その結果、平成24年度京都市予算において、建設補助金3380万円が計上される運びとなった。なお、建設資金については、年度当初、旧「佐々木寮」の売却の手続きを完了し、自己資金を建設費に充当することになっている。

12月には、法人理事、評議員及び、法人事務局からなる「建設委員会」を設立、年度末までに延べ3回の委員会を開催し、設計・建設業者選定の方式での進め方を確認する段階まで到達した。

- ③ 「洛西寮」においては、5月末に陶芸作業を閉鎖し、開所当初から継続してきた永年の作業科目閉鎖という大きな節目を迎えた。10月からは、障害者自立支援法上の障害者支援施設として、日中の「生活介護」（定員45名）及び、夜間の「施設入所支援」（定員30名）での事業移行を完了した。

事業再編を機に、施設機能の拡充と老朽化した施設設備の補修工事を行った。8月から9月にかけては、「洛西寮」4階ホール及び、1階作業室等のスプリンクラー第2次工事、12月には、3階にあった医務室、相談室を1階陶芸作業室跡に移設し、生活支援と健康管理及び相談がより近い場所で一体的に実施できるよう改善に努めた。その他、男子浴室の水漏れ工事、調理場溝蓋の改修工事、居室におけるテレビ地上デジタル化対応工事などを行った。

施設の利用状況については、年度末時点で入所30名、通所13名で推移した。10月以降、利用サービスの条件が障害程度区分認定によることから、単一の視覚障害の場合、区分認定のばらつきが大きく、そのことが今後の報酬単価に反映されない部分として大きな課題を抱えている。

- ④ 事業移行後の作業及び生活支援においては、サービス管理責任者や生活支援部長の配置などを通じて、個別支援計画の効率的な推進と利用者ニーズの把握のシステム作りに努めた。例えば、サービス管理責任者を中心とした新規受け入れケースの把握、作業支援においては、日常的に作業担当者会議などを開き、作業場間の動きが分かりやすい仕組み作りなどに努めた。

他方、利用者の側から見ると、これまでほぼ終日作業に没頭していた働き方から作業時間の変更が容易に選択できるようになったこと、生活介護・レクリエー

シヨンプログラムの定期的な実施にともない、参加への選択が保障されたことに加え、外部講師のご支援によって、新たに音楽やヨガなど、2教室が開始され、生活の質を高める支援内容が拡充された。

- ⑤ 作業における生産額の推移では、昨年度に比べて2割減であり、作業工賃の平均額は28,181円（昨年度比3割減）であった。下請けの箱及び、縫製作業に携わる利用者は、全利用者の75%を占め、同一作業でありながら狭隘化のため、別の作業場にその一部が分散せざるを得なかったが、次年度からは第3作業場に同一作業に携わる利用者として統合されることとなった。点字印刷は、「市民しんぶん」の全市版及び各行政区版を中心に、月々の納期に追われながらの多忙な作業スケジュールを消化した。今後、本作業が就労継続支援B型に移行する見通しから作業スタッフのスキルアップと増員に向けた手だてが課題となる。
- ⑥ 紫野点字社は、入力・製版業務を担い、点字印刷作業部門と事業連携を図って版下作業を担った。プリンター印刷受注が昨年度比1.5倍に増大したのに対し、「市民しんぶん」全市版は毎年減少傾向をたどっている。その背景には、送り手側が細分化した情報を提供することから、情報が多岐にわたっているのに対し、読み手側の点字触読者の伸び悩みなどによる相対的な印刷部数の減少が気がかりな点である。
- ⑦ 京都府巡回生活指導員派遣事業は、指導員の病欠退職により、下半期は前任者・事務局次長が兼任で難局を乗り越えた。しかし、年度末には欠員補充職員を得て、次年度からの円滑な事業運営の担い手として確保することができた。今年度の特徴は、府内中・北部において、相談件数が前年度比対象者数で1.4倍を記録し、中途視覚障害者への情報提供と社会参加への大きな実績を収めた点である。年度末には、京都ライトハウス「鳥居寮」との共同で、在宅地域における拠点（サテライト）構想の具体化に取り組み、府内南部、乙訓地域での事業展開に向け、京都府への働きかけを強めた。
- ⑧ 盲人ホーム美鈴は、7月の評議員会で事業所名称を「マッサージセンター美鈴」から「盲人ホーム美鈴」へと改名した。改築後4年目を迎え、業務運営の効率化、接客研修などに力を注いだ。年度末には、改築当初からいた利用者の一人が退所し、改築当初からいた利用者の全員が入れ替わることとなった。しかし、立地条件の良さやリピーターの多いことなど、順調な患者数のニーズに見合う利用者の養成が大きな課題となっている。今年度は、初めて北区社会福祉協議会などが主催する地域イベントに参加し、新たな患者層の発掘に挑戦した。
- ⑨ 盲人三療技術指導所は、いよいよ来年度において移転改築場所での就労継続支援A型事業所に移行する。患者増に向けた取り組み、利用者の新旧交代、移転・竣工後の事業運営に対する準備など、定期的な会議を通じて理解の共有に努めた。
- ⑩ 人事面では、今年度もめまぐるしい動きへの対応に迫られた1年となった。4月に支援員1名採用、9月末相談員、支援員兼任者1名退職、11月産休・育休

入り職員1名、同月産休代替職員1名補充、2月妊娠にともなう看護師に対し、補充看護師1名増員、3月末栄養士退職の他、夜間の宿直・生活支援員として、9月2名退職と2名の補充支援員採用など、枚挙にいとまがなかった。年度末時点においては、歩行訓練士の有資格者の相談員と管理栄養士の採用に漕ぎつけ、懸案の欠員問題に決着した。

⑪ 紫野福祉センター後援会は、一昨年度の成果を踏まえて新年度を迎えたが、後援会事務局の担い手が確保できないこと、建設準備期間の多忙さ等に追われて理事会の開催、後援会企画事業の実施など、具体的な活動を展開することができなかった。

⑫ 施設から地域への情報発信の取り組みでは、西京区社会福祉協議会及び、京都府視覚障害者協会西京支部との共催で「視覚障害者支援ボランティア養成講習会」を開催。オプション企画を含む延べ4日間の講習内容を通じて16名の新規登録者を獲得することができた。また、西京支部との共催で取り組んできた「洛西寮周辺の交通環境のバリアフリー化」の取り組みでは、「洛西ニュータウン創生委員会」などのご理解も得て、西京区土木事務所に対し、周辺環境の改善を要望すると共に、平成25年度予算において点字ブロックの敷設等、具体的な予算化の見通しを引き出すことができた。

最後に、平成23年度は、これから始まる最大の正念場に向けた助走期間であった。障害者がいつまでも働き続けられる事業所であるためにも、引き続き「事業推進3ヵ年プラン」を掲げて、役職員と共に、この大切な時期を乗り越えていきたい。

## 二 事業計画の重点に対する達成評価

☆前年度の評価方法が煩雑であった点を反省し、今年度は各項目ごとに10点満点とし、3区分として単純化した。A=9点以上、B=6-8点、C=5点以下として評価の目安とした。

### ①事業推進3ヵ年プランの策定→ A. (9点)

プラン策定を終え、第1段階をクリア、第2段階の補助金獲得まで達成した。第2段階の主要な課題である建設計画及び、第3段階のビジョン検討の諸課題を抱えている。

### ②新事業移行に向けた事業運営規程、組織の整備→ B. (6点)

定款変更など事業認可手続きについては、ほぼ予定通り進めることができた。しかし、法人及び、各事業所の組織運営においては、会議決定の実行と伝達及び、運営に携わる担当職員の組織的な役割の弱さと適切な指導が不足していた。

### ③事業の活性化と情報発信→ B. (6点)

地域に対する市民啓発活動は、情報発信の頻度や創意工夫など、職員の意識も含めてまだ不十分な段階である。成果としては、西京区社会福祉協議会、京都府視覚障害

者協会西京支部との共催で「視覚障害者支援ボランティア養成講習会」が洛西寮で開催され、継続実施の方向で受け継がれたことである。

#### ④利用者サービスの拡充→ B. (6点)

支援員の多くが、利用者サービスの基本であるコミュニケーション支援のスキルアップが未熟である。利用者の自主的活動を支援し、より能動的な生活を促すこと、とりわけ、洛友会の側面からの支援が立ち遅れている。成年後見制度に関する学習などの取組ができなかった。

#### ⑤資質向上に向けた職員研修→ B. (6点)

機会あるごとに各種研修会にはほとんど参加した。職員研修会の継続ができなかったこと、研修参加後の他職員への伝達研修が不十分だった。中でも、平成24年10月から施行される「障害者虐待防止法」関連の研修会が持てなかったことは反省すべきことであった。しかし、サービス管理責任者となる職員に対し、外部施設研修を延べ3回12日間にわたって実施した。

#### ⑥安全衛生対策→ B. (7点)

スプリンクラー第2次工事完了。健康管理、生活支援の一現化と寮内清掃、トイレ臭対策が大きく改善された。しかし、一昨年から昨年にかけて利用者の急病死事例に遭遇しながら、救急搬送時の「個人別救急用カルテ」（仮称）の整備が着手できなかったことは大きな反省であった。また、夜間、休日中の火災通報訓練などの実施が引き続きの課題である。

#### ⑦対外的な諸団体との交流・連携促進→ B. (8点)

府内視覚障害相談会及び、視覚障害関係法人共催による事業企画には担当の職員及び委員を派遣して事業成功のために努力した。また、新林区社会福祉協議会や老人会などとの共催行事にも場所の提供を含めて利用者が参加した。全国規模では、日本盲人社会福祉施設協議会の大会や研修会に職員を派遣し、研修・交流に成果を収めた。

#### ⑧財政運営の健全化、効率化→ C. (5点)

所内に理事長をトップとした「財政課題集中討議プロジェクト」を設置し、収入増及び、支出縮減の具体化について取り組みを開始した。業務委託費の全面的な見直しをはじめ、食材購入費の精査から人件費の他施設間比較などを通して、財政収支の課題について、日常的な検討の必要性を再確認した。

#### ⑨後援会活動の活性化→ C. (0点)

一昨年度の再発足の成果を踏まえて、年間企画の具体化などが大きな課題となっていたが、後援会理事会が全く開催できなかったこと、事務局担当者の選任の見通しが得られなかったことなどから、実績を残せなかった。

→総合達成評価率＝55%（前年度43.6%）

## II. 各部門別報告

### A. 法人事務局

#### 一 概要

1. 新事業体系移行における内部組織体制の再編  
3部署制を廃止し、2部局制へ新たな組織作りをした。
  - ①法人事務局
  - ②生活支援部
2. 規程類の整備  
新事業体系移行に伴い、法人関係規程（定款、就業規則、給与規程、雇用契約等）の改正及び見直しをした。また、洛西寮運営規程の改正も実施した。
3. 介護給付費請求事務のソフト更新  
新事業体系移行に伴い、介護給付費請求事務に向けて、「施設入所支援」、「生活介護」それぞれのサービス種別ごとに請求ソフトの更新を実施した。

#### 二 成果

1. 「事業推進3ヵ年プラン」の第1次計画の達成と第2次建設費の京都市平成24年度予算化の確定
2. 建設予算に充当するための「佐々木寮」の売却

#### 三 課題

1. 新事業移行にとまなない、事業所別の報酬単価申請実務体制の確立
2. 「財政課題集中討議」の推進と法人財政の健全化
3. 委託事業等における契約書式の整備

#### 四 実績

##### 1. 会議の開催状況

###### ①理事会

月	日	内 容	出席者数
5	26	平成22年度決算・事業報告についてほか	理事8名 監事1名
7	27	定款の一部変更についてほか	理事8名 監事2名
11	30	A型事業所建設計画の具体化についてほか	理事8名 監事2名
1	25	事業推進3ヵ年プランの検討についてほか	理事7名 監事1名
3	28	平成24年度予算・事業計画についてほか	理事5名 監事2名

※9月は定例理事会開催なし

###### ②評議委員会

月	日	内 容	出席者数
5	21	平成22年度決算・事業報告についてほか	理事3名 評議員18名 監事2名
7	23	定款の一部変更についてほか	理事3名 評議員15名
3	24	平成24年度予算・事業計画についてほか	理事3名 評議員15名

### ③監査会

月	日	内 容	出席者数
5	21	平成22年度事業及び会計監査について	理事1名 監事2名

### ④法人運営会議

月1回

### ⑤法人事務局会議

月1回

### ⑥建設委員会

月	日	内 容	出席者数
12	21	役割分担・委員会の進め方・建設計画について	委員3名 事務局3名
1	18	利用者のニーズに基づいた建設計画づくり	委員3名 事務局3名
3	16	建設意義と基本計画	委員3名 事務局3名

## 2. 人事

- ① 採用 洛西寮生活支援員（1名）
- ② 退職 巡回生活指導員（1名）、洛西寮栄養士（1名）
- ③ 休職（産休代替、育児・介護休暇を含む） 洛西寮事務員（1名）
- ④ 昇進・昇格 部長（1名）、主任（1名）

## 3. 登記実務

- ①資産の変更登記
- ②定款変更登記

## 4. 契約（100万円以上）、業務委託

- ①洛西寮スプリンクラー第2次工事請負契約 15,970,500円  
（請負業者：洛陽防災設備）
- ②洛西寮第1作業場改修工事請負契約 2,331,000円  
（請負業者：全京都建設協同組合）

## B. 点字出版施設「紫野点字社」

### 一 概要

今年度も、京都市からの点字印刷を中心に受注した。市民しんぶん・市会だより点字版は年間契約し、毎月安定した仕事量の確保ができた。その他、随意受注では選挙公報やマラソン交通規制など、市民しんぶん区版の挟み込みタブロイド版や冊子等の点字版を製作した。あと、点字以外では、市民しんぶん・市会だより拡大版、市政ポスターの発送を年間契約で受注している。

京都市以外では、社会福祉協議会や視覚障害者関係団体、ボランティアグループなどからの受注で、点字需要へ安価に提供できるように協力している。



## 二 成果

- ① 地域視覚障害者の活動を援助する点字印刷を迅速に安価に行えた。
- ② 視覚障害者の不足しがちな情報を提供するための出版活動を推進。
- ③ 洛西寮利用者の作業確保をする。
- ④ 高速点字プリンターの導入による、オンデマンド印刷の拡充。

## 三 課題

- ① 市民しんぶん点字版のタイトな製作日程への対応と効率化。
- ② 市民しんぶん点字版の発行部数減少にともなう売上の減少。
- ③ 洛西寮点字作業印刷能力と受注への調整。
- ④ 製版機のシステム更新。
- ⑤ 市民しんぶん発行部数の減少。

## 四 実績

### 1. 点字印刷などの状況

(単位、枚) (※ 発送：部)

月	製版	印刷機 印刷	亜鉛版 印刷	パソコン 製版	パソコン 印刷	点字 罫、はぎ	点字 シール	発送	墨字 印刷	墨字 入力	用紙 加工
4	477	62,802	185	63	3,106	0	548	505	5,836	19	219
5	420	48,333	0	114	984	300	103	495	2,010	1	0
6	427	40,434	0	138	1,397	50	100	52	1,950	1	0
7	532	68,634	0	8	503	0	60	0	4,304	1	0
8	580	51,326	0	1	410	0	320	0	1,705	1	0
9	530	64,667	0	8	359	0	100	975	1,660	0	0
10	452	43,412	0	11	1,222	0	160	0	1,564	1	0
11	435	42,866	0	8	1,502	0	0	260	2,300	2	0
12	452	45,500	42,000	20	832	596	720	1,500	3,065	7	43,500
1	456	41,442	42,000	34	277	0	0	1,551	2,605	1	43,500
2	478	50,959	0	71	482	0	0	230	2,815	4	0
3	478	43,547	0	221	2,126	0	206	0	3,480	0	0
合計	5,717	603,922	84,185	697	13,200	946	2,317	5,568	33,294	38	87,219

※ 録音は、7月：3本、9月：3本、1月：3本、計9本

### 2. 過去5年間の年間実績比較

(単位、枚) (※ 発送：部)

年度	製版	印刷機 印刷	亜鉛版 印刷	パソコン 製版	パソコン 印刷	点字 罫、はぎ	点字 シール	発送	墨字 印刷	墨字 入力	用紙 加工
19	5,200	612,349	-	668	9,094	1,705	8,783	-	36,152	42	-
20	5,552	661,360	-	878	13,103	1,238	3,480	2,100	29,219	24	-
21	5,505	763,371	-	635	10,374	290	3,481	2,137	38,384	26	-
22	5,794	669,636	100,144	651	8,264	1,250	2,485	2,997	30,630	35	107,159
23	5,717	603,922	84,185	697	13,200	946	2,317	5,568	33,294	38	87,219

## C. 盲人ホーム美鈴

### 一 概要

#### 1. 患者数の推移

すでに飽和状態に差し掛かっている状況の下で前年比104.4%を達成したことは予測を超える成果である。

鍼治療の患者数は目標の全患者数の20%には達成はできなかったが、しかし昨年度約2倍に増加した。こうした成果の要因としては従来から取り組んできた、施設内清掃の強化、整理・整頓の強化、カルテ・集計表のPC管理を確立、接客・電話対応の強化、治療技術の向上、傾聴の徹底、患者（顧客）との距離感の意識づけを徹底した結果である。

#### 2. 職員、利用者の推移

事務担当職員の退職及び採用それぞれ1名、利用者入所・退所者それぞれ2名。

#### 3. 利用者の技術向上のための取り組み

- ① すべての利用者が自ら選んで外部で行われるセミナーに参加して実力を高めることを援助した。
- ② 利用者のスキルアップをテーマとしたマッサージの勉強会等を実施した。
- ③ 例年行っているコミュニケーション、実務能力、患者対応を高める指導を行った。

#### 4. 研修支援

京都府視覚障害者協会の委託による、ヘルスキーパー派遣事業実技指導で参加者3名を受け入れた。

#### 5. 地域イベントへの参加

- ① 紫野文化展（洛西寮の夏まつり）にて無料奉仕マッサージを行い好評を得た。
- ② 船岡秋のスタンダードにて無料奉仕マッサージに参加。

### 二 成果

1. 前年を超える患者数を確保することができた。
2. 21年度から参加の為に働きかけ努力していた船岡スタンダードに参加できた。
3. 改築時に受入れた利用者4人が、昨年度2人、今年度2人、いずれも就労でき、順調に職業的自立をすることができた。

### 三 課題

改築から入所していたメンバーが入れ替わり、美鈴のステータスとなっていた女性中心の治療師が男女半々になる中で、これまでと同じ患者数を達成することが大きな課題。

## 四 実績

### 美鈴治療所の月別治療件数及び売上

(単位：件数)

月	治療件数	治療売上(円)	件数前年比(%)	売上前年比(%)
4	513	1,643,000	111.0	112.5
5	408	1,300,100	97.6	97.0
6	473	1,518,300	103.5	103.6
7	511	1,630,400	111.6	111.5
8	459	1,471,700	110.6	110.2
9	487	1,546,400	100.0	99.7
10	526	1,695,400	107.6	108.4
11	466	1,522,100	105.2	107.8
12	474	1,538,000	105.6	106.4
1	428	1,369,400	107.0	105.8
2	451	1,453,700	102.3	102.8
3	456	1,474,200	92.3	93.0
合計	5,652	18,162,700	(平均) 104.4	(平均) 104.8
昨年度100	104.4	104.8		

## D. 京都盲人三療技術指導所

### 一 概要

#### 1. 事業所利用者状況の推移

入所者・退所者いずれも1名であった。平成24年4月1日現在の利用者状況は、新林指導所4名、福西指導所3名の合計7名である。

#### 2. 患者数の推移

指導所の患者数について、リビング新聞に広告チラシを折り込んで、洛西ニュータウン内の住宅に配布し10数人から問い合わせがあり、治療を受けに来た方もいたものの患者数で、新林は前年比87.5%、新患者で前年比47.5%、福西は患者数97%、新患者85%、指導所合計は91.7%、65.1%とほぼ1割の減少となった。

#### 3. 管理運営規則及び、研修プログラムの文書化

利用者・職員を対象とする事業所の管理運営規則の策定、及び教育研修方針それに基づく実施プログラムを三療関係事業所運営会議で検討し文書化した。

#### 4. 就労継続支援A型事業所建設に向けた利用者ニーズの取りまとめ

就労継続支援A型事業所建設に向けて、建設委員会に当事者の立場で主に治療や利用者の用途に応じた、室内の構造や設備などについて、意見をまとめて提案要望を行うとともに、新しい事業所の運営について検討を開始した。

### 二 成果

1. 今年度も美鈴と共同して紫野文化展（洛西寮の夏まつり）で無料マッサージを行い好評を得た。
2. 管理運営規則・教育研修方針の作成。

### 三 課題

1. カルテの見直しとコンピューターによる処理システムの実施が未着手であったため、次年度への課題として保留した。
2. 新しい事業所開設に向けて、後退している患者数の回復・増加。

### 四 実績

#### 1. 新林指導所の月別治療件数及び売上 (単位：件数)

月	治療件数	治療売上 (円)	件数前年比 (%)	売上前年比 (%)
4	230	759,000	90.2	90.6
5	216	710,800	86.7	86.7
6	227	747,100	81.7	81.4
7	213	700,900	80.1	79.9
8	227	747,100	86.3	86.6
9	199	654,200	82.9	82.9
10	218	716,900	82.9	83.2
11	210	690,500	95.0	95.2
12	208	683,900	88.5	88.6
1	198	650,400	84.6	84.9
2	213	697,900	95.5	95.5
3	234	768,200	99.6	99.6
合計	2,593	8,526,900	87.5	87.6
昨年度100	87.5	87.6	—	—

#### 2. 福西指導所の月別治療件数及び売上 (単位：件数)

月	治療件数	治療売上 (円)	件数前年比 (%)	売上前年比 (%)
4	196	646,800	94.2	94.2
5	184	604,700	88.9	88.3
6	188	619,900	94.0	93.5
7	218	717,400	111.2	111.5
8	185	612,000	94.9	95.8
9	203	676,400	106.3	107.7
10	193	646,400	91.0	92.5
11	164	546,700	90.1	91.4
12	163	543,900	95.3	97.2
1	180	599,500	102.9	104.3
2	177	591,100	105.4	107.3
3	172	571,600	92.0	93.5
合計	2,223	7,376,400	97.0	97.8
昨年度100	97.0	97.8	—	—

## E. 中途失明者巡回生活指導員派遣事業

### 一 概要

#### 1. 対象者数の推移

対象者数140人・延派遣回数369回で、昨年度より対象者数は4割増、延派遣回数は17回増で、前年度よりも多くの対象者に対して相談支援ができた。これは、市町村との連携、視覚障害者団体との連携、病院関係とのつながり、視覚相談会への参加者増など、啓発により当事業の周知が進んだからである。

#### 2. 南部サテライト事業の取組

各市町村に整備されている障害者地域生活支援センターであるが、視覚障害者の相談利用が進んでいない。そのような中で視覚障害者の地域に根ざした相談支援を行なうには、相談支援を行なう拠点が必要である。視覚障害者が利用しやすい環境の中で、視覚障害に特化したニーズに対応するために、京都ライトハウス訪問訓練事業と共催し、南部サテライト事業を「京田辺市障害者支援センターふらっと」に会場を提供していただき試行した。

来年度は、京田辺市・宇治市・長岡京市と地域を広げて南部サテライト事業を展開する。

試行期間：1月～3月 計5回

内容：相談支援・視覚リハ技術支援・情報提供支援・交流のためのサロン企画等

#### 3. 府内視覚相談会

家庭支援総合センターと京都ライトハウス、紫野福祉センターが共催して実施している「府内視覚相談会」に相談員として参加した。その場では解決しないニーズを後日訪問して対応している。

福祉制度の周知不足を感じる中で相談会は市町村が果たすべき役割の一旦を担っていると思われる。

内容：個別相談・ロービジョン相談・視覚障害者用機器・盲導犬・眼科医の講演・視覚障害者の講演等

### 二 成果

- ① 補装具・日常生活用具・各種機器の紹介、活用方法についての支援
- ② 障害年金請求申請手続きの説明と情報提供支援
- ③ 失明後の障害受容相談支援
- ④ 福祉サービス、制度利用の情報提供
- ⑤ 介護事業所との連携
- ⑥ 南部サテライト事業による総合的相談支援拠点の創設

### 三 課題

- ① 対象地域が広範囲であるため、配置されているスタッフでの巡回相談に限界がある。
- ② 府内6圏域に設置された地域障害者生活支援センター等との有機的な連携がとれるようなシステムづくりが必要。
- ③ 対象者の重度・重複・高齢化に伴い、巡回指導員だけでなく様々な関係諸機関との連絡調整が必要になり、一人の利用者に関わる相談時間が増大する傾向にある。

- ④ 障害者自立支援法の中核となる相談事業でありながら、京都府としての位置づけ、委託金の精算単価、職員配置、巡回相談用の車購入の支援など、新たな事業展開のための課題が山積している。
- ⑤ 京都府の委託事業であるところから、市町村窓口に対する本事業への周知と協力支援が必要。

#### 四 実績

##### 1. 過去5年間の相談件数比較（延回数）

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
321	308	304	352	369

##### 2. 府内相談会実施状況

実施日	開催地	会場	時間
5月17日	大山崎町	大山崎町福祉センターなごみの郷	10:30～15:30
7月21日	京丹後市	丹後視力障害者福祉センター	11:00～15:30
9月20日	木津川市	公立山城病院	10:30～15:30
11月17日	京丹波町	瑞穂保健福祉センター	11:00～15:30
1月17日	京田辺市	田辺記念病院	10:30～15:30
3月23日	綾部市	綾部市保健福祉センター	11:00～15:30

##### 3. 相談内容

心理更生	傾聴・共感により信頼関係を築き、ニーズの根底がどこにあるのかを把握していく。世の中から置き去りにされたような喪失感の中、視覚障害のことを理解し受け入れ寄り添ってくれる指導員の存在は大きい。精神疾患への罹患を防ぐことを最優先に考える。家族関係や居住等の環境に働きかけるのも重要である。
感覚	視覚障害者用具の活用や日常の工夫など
生活	補装具や日常生活用具の活用・日常生活の工夫・眼疾患・年金・生活保護受給・ヘルプ事業利用など具体的なものである。
リハビリ訓練	更生訓練への働きかけや、京都ライトハウスの見学など。
その他	家族からの相談や働きかけ。関係機関との調整など。

## F. 障害者支援施設「洛西寮」

### 1 「洛西寮」事務局

#### 一 概要

##### 1. 新事業体系への移行

新事業体系の内容等「新事業移行推進チーム」を中心に検討を進め、10月1日に新事業体系へ移行した。

- ①施設入所支援、定員30名（夜間支援）
- ②生活介護（生産活動型）、定員45名（日中活動支援）

## 2. 補助金による施設整備等

- ①平成23年度福祉施設人材確保・サービス向上補助金（京都市）：1,350千円  
施設整備借入金元金一部返済及び男子浴室防水工事、居室テレビデジタル改修工事の実施
- ②障害者自立支援特別策事業補助金（京都府）：1,947千円  
洛西寮第1作業場改修工事（医務室の移設・相談室の新設）
- ③京都市障害者福祉施設耐震化等整備補助金（京都市、国）：6,598千円  
洛西寮スプリンクラー設置に関する整備（1階・4階）
- ④京都市民間社会福祉施設整備利子補給金（京都市）：96千円  
施設整備借入金返済利子に対する補助金

## 3. 財務管理区分の変更

会計区分は一般会計、授産会計、公益会計の3区分で、一般会計には法人会計、紫野点字社会計、美鈴寮会計、巡回指導員派遣事業会計の4経理区分が、授産会計には従来の授産会計を統合した洛西寮会計の1経理区分が、そして公益会計には三療指導所会計の1経理区分がそれぞれ位置付けられ、3会計区分、6経理区分となる。

平成23年度の事業移行後の会計については、年度途中ということで旧会計にて処理ができた。しかしこのままでいくと、「社会福祉法人会計」「就労支援会計」「授産会計」と3つの会計が混在することになり、事務処理的にも複雑になってくることが予想され、本法人として来年度予算より新会計基準を導入することにより会計の一元化処理を目指す。今年も隔月開催の理事会のペースに合わせて、3月に当初予算、5月に本決算を監査会・役員会に提出して承認された。

## 4. 機関誌「らくさい」の発行

機関誌「らくさい」については年2回（7月と1月）施設行事の報告、製品の紹介、利用者の様子等、編集委員で検討し発行した。

ホームページについては、行事の案内、機関誌らくさいの掲示等更新をした。

## 二 成果

新事業移行手続の完全実施

## 三 課題

- ①新事業移行にともなう職員研修の拡充
- ②歩行訓練士の採用による利用者の外出支援環境の拡充

## 四 実績

### 1. 入所者の状況

		入所者			通所者			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
異動	23年3月31日現在	18	10	28	7	6	13	25	16	41
	入所	1	2	3	2	0	2	3	2	5
	退所	0	1	1	1	1	1	1	2	3
	24年3月31日現在	19	11	30	8	5	13	27	16	43

退所の理由	死亡	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	家庭復帰	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	他の施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病気のため	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1
年齢	10代	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	20代	2	1	3	0	1	1	2	2	4
	30代	2	1	3	3	0	3	5	1	6
	40代	5	3	8	2	3	5	7	6	13
	50代	6	2	8	1	0	1	7	2	9
	60代	2	3	5	1	1	2	3	4	7
	70歳以上	2	1	3	0	0	0	2	1	3
平均	24年3月31日現在	50.0	50.6	50.2	43.1	44.6	43.7	48.0	48.8	48.3
出身地	京都市	3	2	5	4	4	8	7	6	13
	京都府下	3	0	3	4	1	5	7	1	8
	兵庫県	7	0	7	0	0	0	7	0	7
	大阪府	6	3	9	0	0	0	6	3	9
	その他	0	6	6	0	0	0	0	6	6
区分認定	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	5	2	7	0	1	1	5	3	8
	区分4	11	2	13	0	3	3	11	5	16
	区分3	3	4	7	6	1	7	9	5	14
	区分2以下	0	3	3	2	0	2	2	3	5
在所期間	15年以上	11	2	13	3	2	5	14	4	18
	10年～15年未満	2	1	3	0	2	2	2	3	5
	5年～10年未満	2	5	7	0	0	0	2	5	7
	3年～5年未満	2	0	2	0	1	1	2	1	3
	1年～3年未満	2	2	4	4	0	4	6	2	8
	1年未満	0	1	1	1	0	1	1	1	2

## 2. 月別入所状況

月	入所者				小計	通所者				小計	合計
	入所		退所			入所		退所			
	男	女	男	女		男	女	男	女		
昨年度末	18	10	—	—	28	7	6	—	—	13	41
4	1	0	0	1	28	1	0	0	0	14	42
5	0	0	0	0	28	1	0	0	0	15	43
6	0	1	0	0	29	0	0	0	1	14	43
7	0	0	0	0	29	0	0	0	0	14	43
8	0	0	0	0	29	0	0	0	0	14	43
9	0	0	0	0	29	0	0	1	0	13	42
10	0	0	0	0	29	0	0	0	0	13	41
11	0	0	0	0	29	0	0	0	0	13	42
12	0	0	0	0	29	0	0	0	0	13	42



1	0	1	0	0	30	0	0	0	0	13	43
2	0	0	0	0	30	0	0	0	0	13	43
3	0	0	0	0	30	0	0	0	0	13	43
合計	1	2	0	1	30	2	0	1	1	—	—
年度末	19	12	0	1	30	9	6	1	1	13	43

### 3. 各種行事一覧

月	日	内 容	場 所
5	16	レクリエーション 通天閣	通天閣界限
7	2	第26回紫野文化展（洛西寮夏まつり）	洛西寮
7	8	七夕会	洛西寮
9	15～16	第26回紫野研修旅行	淡路島
10	2	第45回白杖安全デー	二条BiVi
12	9	洛友会主催 クリスマス会	洛西寮
1	20	新年会	洛西寮
1	12～15	あい・らぶ・ふえあ視覚障害者福祉啓発事業	大丸京都店
3	4	第27回視覚障害者京都マラソン大会	西京区総合運動公園陸上競技場

## 2 生活支援部

平成23年10月1日より、障害者自立支援法上の授産施設から、「障害者支援施設 洛西寮」へと名称変更し、施設入所支援（夜間支援）と生活介護（生産活動型）へと移行した。そのため、生活支援部を設置し、生活支援部長及び、サービス管理責任者を配置した。

### ア. 施設入所支援（夜間支援）

#### 一 概要

1. 従来までの施設入所に加え、生活の質を高める支援と安全・安心の生活環境整備を目指した
2. 日中及び、夜間の安全・安心確認を強めるために、支援員の巡回回数を増やした。

#### 二 成果

1. 日勤者と夜間の生活支援員との引き継ぎを強化し、個人の健康状態や申し送り事項の徹底に努めた。
2. ボランティア養成講習会の実施により、新規ボランティアが増えたことから、外出支援など、生活支援面での拡充が図られた。

#### 三 課題

1. 土曜・日曜及び、夜間想定の方災訓練の継続実施が必要。
2. 生活支援員全体が、夜間の支援体制づくりに参入できるシステムの構築が急務。

## 四 実績

### 土日等日中活動サービス状況

実施日	サービス支援内容	利用者 人数	職員人数	実施場所
10. 2	ふれあいの里秋祭り バザー販売	1	1	ふれあいの里
10. 29	新林まつりバザー販売	1	1	新林小学校
1. 14	あいらぶふえあ販売要員	1	1	大丸京都店
1. 15	あいらぶふえあ販売要員	1	1	大丸京都店
2. 11	ふれあい茶話会と カラオケ大会	10	1	4階ホール
3. 4	第29回視覚障害者 マラソン大会	7	2	西京極総合運動公園
3. 25	カラオケ	14	5	あそびば

## イ. 生活介護（日中活動支援・生産活動型）

### 一 概要

1. 作業科目については、本年5月末で陶芸作業を閉鎖し、その作業に携わる利用者を下請け作業に移した。その結果、下請け（箱づくり、縫製作業）と点字印刷の2作業部門となった。
2. 生活介護の理念に基づき、作業時間の短縮希望者の聴取、個別支援計画の拡充、生活の質を高めるためのレクリエーションプログラムの導入などを積極的に行った。

### 二 成果

1. 点字印刷において、点字製版機・印刷機の整備が実現し、安定した品質向上ができた。
2. 下請け作業の利用者が多人数であるために、二つの作業場に分散していたが、年度末になって第3作業場での統合が実現する運びへと改善された。

### 三 課題

1. 平成25年1月からの事業移行に備え、利用者及び、家族への説明責任、職員研修の充実と配置計画の具体化
2. 在庫陶芸商品の完売
3. 就労継続支援A型、B型事業所の開設計画の推進

## 四 実績

### 1. 生産活動作業科目一覧

点字印刷	点字製作・発送：市民しんぶん（全市版・区版）・市会だより・・・ 部局情報誌・盲導犬情報・点字毎日「弁論大会弁論集」等 封入発送作業：市民しんぶん拡大版、京都市広報ポスター（市民ニュース・魅力シリーズ）
------	--

ミシン縫製	下請：平和工業（和装用袋）、TERRA（袋物、袋詰） 自主製品：給食袋・体操服入れ・白杖入れ・手提げ袋等
箱作業	京都土産箱作り：八つ橋・ようかん
数珠加工	数珠玉通し・袋詰め等
黒豆茶	ティーパックの袋詰め作業

## 2. 点字印刷 月別生産状況

(単位：枚)

月	市民しんぶん (拡大版)		市民ニュース ポスター		魅力ポスター			市政総合 アンケート	発送
	全市版	区版	箱あり	箱なし	箱あり	箱なし	その他		
4	363	360	576	101	0	0	0	0	472
5	363	361 (360)	576	101	0	0	0	0	470 (222)
6	362	362	577	101	0	0	0	0	468
7	360	359 (358)	577	100	0	0	0	0	465 (219)
8	360	357	577	100	0	0	0	0	466
9	361	359	577	100	0	0	0	0	467
10	360	359	577	100	0	0	0	0	466
11	362	358	577	100	0	0	0	0	465
12	364	360 (359)	577	100	0	0	0	0	461 (218)
1	364	362	577	100	0	0	0	0	461
2	358	358 (357)	577	100	0	0	0	0	456 (217)
3	355	354	577	100	519	239	195	0	453
計	4,332	4,309 (1,434)	6,922	1,203	519	239	195	0	5,570 (876)

## 3. ミシン縫製 月別売上状況

( )は ほっとはあとセンター (単位：枚、黒豆茶は単位：パック)

	給食袋	給食セット	靴入れ	体操服入れ	ビーズ製品	手提げ袋	ティッシュケース	コースター	腕カバー	巾着袋	袋物	買い物袋	白杖入れ	その他	合計	黒豆茶
4	1	8	4	5	2	15	0	0	35	6	10	0	30	0	116	66 (11)
5	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	12	0	0	0	26	102 (25)
6	0	0	0	0	0	0	0	(1)	2	0	10	0	30	0	42	34 (6)
7	9	15	5	9	26	10	51	0	0	14	6	2	2	0	149	66 (15)
8	0	0	0	0	0	28	2	0	0	0	8	0	41	0	79	82 (10)
9	0	2	0	33	27	0	23	0	0	0	0	0	0	0	55	20 (4)
10	0	0	0	7	2	1	21	0	0	0	18	0	0	4	53	104 (5)
11	4	3	2	6	20	20	13	0	11	0	24	0	0	25	128	37 (11)

12	0	0	0	1	0	22	0	0	0	0	0	0	30	10	63	36(6)
1	0	9	0	10	34	1	0	0	48	4	0	2	33	119	260	10(4)
2	3	101	29	40	0	49	0	0	3	0	23	0	0	42	290	78(5)
3	1	76	26	36	2	7	0	0	6	0	15	0	0	16	185	45(20)
合計	18	214	66	117	113	167	110	(1)	105	24	126	4	166	216	1446	680(122)

4. 箱作業 月別生産状況 (単位：枚)

月	北村紙器			パックス・サワダ			
	あん生	その他 (八つ橋)	合計	夢丸	番舞	その他	合計
4	50,000	0	50,000	800	0	0	800
5	90,000	0	90,000	1,600	0	0	1,600
6	50,000	0	50,000	2,240	0	0	2,240
7	0	0	0	1,280	0	0	1,280
8	39,000	0	39,000	1,280	10,000	0	11,280
9	50,000	0	50,000	1,200	10,160	0	11,360
10	40,000	0	40,000	1,460	0	0	1,460
11	94,000	0	94,000	3,120	0	0	3,120
12	40,000	3,800	43,800	1,640	10,700	0	12,340
1	20,000	0	20,000	0	0	0	0
2	30,000	0	30,000	1,200	10,700	0	11,900
3	50,000	4,000	54,000	10,520	0	0	10,520
計	553,000	7,800	560,800	26,340	41,560	0	67,900

5. 陶芸 月別売上状況 (単位：個)

月	皿類 (大)	皿類 (中) (小)	鉢類 (大)	鉢類 (中) (小)	カップ類	き カップ類・手付	湯飲み・汲出し	ポット・蓋物	花器類	土鈴	その他	合計
4	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	10
5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	8	0	1	0	15	3	8	0	0	0	6	41
8	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5
9	0	6	0	0	2	0	0	0	1	0	1	10
10	0	2	2	0	100	0	0	1	1	0	0	106
11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	6
12	0	3	0	5	0	15	0	0	0	0	7	30
1	3	0	1	4	5	8	10	2	3	1	2	39
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	11	4	9	128	29	24	3	5	1	23	250

## 6. バザー一覧表

月	日	名称	会場	売上 (円)
4	2	らくさいさくら祭2011	ラクセーヌ周辺	19,140
7	2	第26回紫野文化展	洛西寮	59,220
7	10	たかせ保育園バザー	たかせ保育園	10,030
8	14	京都サンガFC区民デーPRバザー	西京極総合運動公園	3,700
9	24	桂徳児童館バザー	桂徳児童館	7,210
10	2	洛西ふれあいの里秋まつり	洛西ふれあいの里	6,740
10	29	新林まつりバザー	新林小学校	9,870
11	5	洛西ふれあいフェスティバルバザー	洛西中学校	5,140
11	20	西京区民ふれあいまつり	ラクセーヌ周辺一帯	1,350
12	7	ラクセーヌ専門店陶芸バザー	ラクセーヌ専門店	26,800
1	12-15	あい・らぶ・ふえあ 視覚障害者福祉啓発事業	大丸京都店	59,900
2	18	つわぶき園バザー	つわぶき園	41,100
2	23	上里竹の子保育園バザー	上里竹の子保育園	10,450
2	25	さふらん保育園バザー	さふらん保育園	32,350
2	29	福西保育園バザー	福西保育園	28,500
3	5	檜原ふじ保育園バザー	檜原ふじ保育園	11,250
3	7	大原野保育園バザー	大原野保育園	12,200
3	12	横大路保育園バザー	横大路保育園	5,400
3	14	新林保育園バザー	新林保育園	19,450
合 計			19件	369,800

## 7. 各部門別売上状況

### 生産活動売上高

今年度の総売上高は、昨年度より約21%減の約14,185千円と大きな落ち込みとなった。これは「点字市民しんぶん」の点字印刷部数減少等により点字作業の売上が減少したことと、点字印刷作業関連の必要経費を生産活動より直接経費をみることで約28%減となったことが大きな要因となった。

(単位：円)

	自主製品	下請	黒豆	点字	合計
受注	473,811	0	416,350	0	890,161
バザー	350,300	0	19,500	0	369,800
下請	0	2,512,949	0	10,411,711	12,924,660
総売上高	824,111	2,512,949	435,850	10,411,711	14,184,621

## 8. 工賃比較表 (過去5年間)

### 年間延べ労働日数と売上高の推移

年度	人数 (人)	年間延 労働日数 (日)	年間 労働日 (日)	平均従 事日数 (日)	売上総額 (円)	一人当 月売上 (円)	一人当 年間売上 (円)	工賃総額 (円)	一人当 月工賃 (円)	一人当 年間工賃 (円)
19	37.6	8,361	238.0	222.3	18,485,915	40,970	491,647	15,683,262	34,759	417,108
20	38.6	8,198	242.0	212.0	19,029,677	41,012	492,146	19,175,038	41,325	495,906
21	39.4	8,420	232.0	213.7	20,399,338	43,145	517,750	17,823,700	37,698	452,378
22	36.3	8,521	234.0	207.8	17,853,926	40,987	491,844	17,345,283	39,819	477,831
23	37.7	8,691	230.0	206.9	14,184,621	31,311	375,732	12,749,467	28,181	338,182

## ウ. 生活介護（生活支援）

利用者一人ひとりの個別支援計画を作成し、個別プログラムに基づき、基本的な生活習慣の確立と維持・向上に取り組んできた。

### （１） 日常生活支援

#### 一 概要

#### 1. 余暇活動

創作・娯楽・健康（スポーツ系、リハビリ系）等、定期的に余暇活動を行った。

実施日	項目	実施内容	参加人数	実施場所
10.19	創作	月見団子作り	10	食堂
10.19	娯楽	映画鑑賞（クイール）	7	会議室
10.19	健康	散策と喫茶店	11	小畑川公園周辺
10.19	健康	散策	5	松尾大社
10.19	健康	散策	4	大原野神社
11.16	音楽	唱歌（旅愁、ふるさと）	25	4階ホール
11.17	創作	スイートポテト作り	6	食堂
11.17	娯楽	カラオケ	4	会議室
11.17	健康	散策	10	嵐山周辺
11.17	健康	ミカン狩り	16	長岡京市
12.21	健康	ヨガ教室	20	4階ホール
12.21	音楽	合唱（ジングルベル、きよしこの夜）	26	4階ホール
1.18	音楽	合唱（四季の歌、雪）	20	4階ホール
1.19	創作	栗きんとん作り	8	食堂
1.19	健康	初詣	12	松尾大社
1.19	健康	卓球バレー	14	4階ホール
2.15	音楽	合唱（上を向いて歩こう、ふるさと、花）	20	4階ホール
2.16	創作	ひな人形作り	5	第3作業場
	娯楽	カラオケ&喫茶	15	会議室
	健康	ボーリング	15	京都エミナース
3.6	健康	ヨガ教室	22	4階ホール
3.21	音楽	合唱（上を向いて歩こう、ふるさと、花）	19	4階ホール

### 2. 選択科目

利用者の社会性を少しでも高める事を課題として、毎週金曜日に選択科目を実施した。

利用者6名 担当：今岡・小林		
健康と調理	内容	健康・栄養に関する勉強会・材料の買い物・調理実習
	指導方法	勉強したいこと・作りたいものはできるだけ利用者の希望に添えるようにした。材料費はその都度集めた。全員が調理の過程に関われるよう支援した。
	効果及び課題	季節毎に注意すべき病気や、旬の食材についての勉強会を行った。調理実習では、ハリネズミドーナツ・クリームパスタ・手作りスポーツドリンク・クッキーなど13種類作ることができた。今年度は、お菓子を作ることが多かった。減量中の利用者もあり、今後は、野菜や果物の学習・調理も取り入れ、より健康的なおやつ作りを意識したい。

体操	利用者12名 担当：井上・木下・橋本・西垣
	内容 ①準備体操、ストレッチ体操、筋力体操、整理体操 ②球技 ③散策
	指導方法 天候の良い日や手引きでの行動が可能な際は、寮周辺の散策に出掛けた。屋内では、4階ホールで準備体操やストレッチなどを行った。筋力運動、腹筋や腕立て伏せなどを行った。
効果及び課題	担当職員数が少なく、屋内中心の活動が多かった。参加者も多く、手引きに欠け、散策のできない日が多かった。年齢や体力の差もみられるため、個々に合った体操を見いだしていくことが今後課題となると共に、楽しみながらできる運動を考えていく必要もある。
点字	利用者5名 担当：ボランティア5名
	内容 点字の読み書き練習
	指導方法 マンツーマンで指導し、受講者の能力に応じて学習を進めた。
効果及び課題	今年度は、新入所者1名が加わっての5名でスタートした。点字の本を読んだり、新聞の切り抜きを点字で打ったりと個々に応じた内容で無理なく楽しく出来るようになってきた。継続していく中で徐々に成果が見られるようになった。
社会	利用者4名 担当：ボランティア1名
	内容 テーマにそっての情報提供（新聞記事等）
	指導方法 全員に発言の機会を設け、楽しみながら行った。
効果及び課題	主に新聞などからテーマを選び楽しく講義を進めた。今年度は、東日本大震災の情報や京都の三大まつりの一つである葵祭、地域のお祭り等についてのニュースなど身近な問題を取りあげ行った。又、教材を用いて、世界農業遺産、生きた化石等についても行い、利用者の興味あるものをテーマにし、意見等を聞ききながら、行った。時には、実習生に入って頂き、楽しく話をする機会を設けたりしながら、充実した時間を過ごした。
ハンドクラフト	利用者3名 担当：竹中
	内容 自分達の使える作りたい物を完成させる。
	指導方法 自分達の作りたい物の情報収集し、イメージした上で材料の準備・購入から完成までの過程を楽しみながら行う。
効果及び課題	年度初めに皆で話し合い、日常で使えるものを目指し計画を立てて取り組んできた。利用者の突然の不幸で年度当初から1名減った形で行なったが、昨年度に人気のあったTシャツ・長袖Tシャツ染め、準備期間がかかった牛乳パックからの和紙・手漉き和紙でのウチワ作り、紙粘土での小箱作り、キーホルダー作り等に取り組んだ。 七夕会では自ら漉いた和紙での「うちわ」、絞り染めの「Tシャツ」で活動内容を発表出来たことに皆喜んでいた。

### 3. 散髪サービス

月1回の訪問による散髪サービスの提供

月	男性	女性	利用人数	月	男性	女性	利用人数
4	1	2	3	10	3	1	4
5	1	2	3	11	3	1	4
6	5	1	6	12	6	2	8

7	4	3	7	1	0	0	0
8	0	0	0	2	3	3	6
9	4	3	7	3	0	0	0

※延人数：男性 30 人、女性 18 人、合計 48 人

#### 4. 買い物支援サービス

毎月洛西近隣と向日市 SATY への買物介助サービスの提供

月	近所	SATY	月	近所	SATY
4	7	0	10	5	5
5	1	1	11	3	5
6	1	0	12	3	1
7	7	4	1	0	5
8	8	2	2	2	2
9	2	6	3	6	2

※延人数：近所 45 人、SATY33 人

#### 5. その他

洗濯物の整理整頓・衣類の整理・居室の整理整頓、金銭管理など実施

### (2) 食事の提供

#### 一 概要

- 嗜好調査で得た情報を元に、利用者のニーズに合わせた献立作成に努めた。
- 調理場の清掃、調理器具の使い分け、害虫駆除、検便等の衛生管理に努めた。
- 保存食の徹底（-20℃以下・2週間）。
- 医師の指示に合わせた療養食の提供と、検診結果にもとづく栄養指導。

#### 二 成果

- 食中毒や感染症に罹患する利用者がなく、安定した食事提供が追求できた。
- 夕食時間が 5時から 5時半に繰り下げられた。これによって、夜間の生活支援員の検食の確保と利用者の夕食時間が家庭生活時間に近づいた。
- 懸案の厨房排水溝の改善が図られ、従業員の安心した職場環境が拡充した。

#### 三 課題

- 食材料費の見直しと業者選定。
- 栄養士、看護師、生活支援部による食事指導、欠食対策などへの支援。
- 嗜好調査、検食簿への記入など、日常的な点検活動。

### 四 実績

行事食の年間一覧

子供の日 (5/5)	うなぎちらし寿司、マカロニサラダ、ほうれん草の澄まし汁、いちご
土用の丑の日 (7/21)	米飯、うぎく、シラスと湯葉の澄まし汁、漬物、オレンジ (ホクの味噌漬焼きもしくはポークピカタ)
クリスマス (12/25)	米飯、鶏の唐揚げ、コーンサラダ、コンソメスープ、漬物、いちご
お正月 (1/1~1/3)	おせち料理、お雑煮、ホットプレート大会、ヒラスの味噌漬け、ちゃんこ鍋、豚肉と白菜の卸し焼肉



節分(2/3)	恵方巻き、鯛の塩焼き、ほうれん草の胡麻和え、なめこの赤だし、漬物、節分豆
ひなまつり(3/2)	鮭寿司、小松菜の胡麻和え、はまぐりのお澄まし、金平糖

### (3) 健康管理

#### 一 概要

1. 利用者個々の目標やニーズ、課題に即した支援計画の実践。
2. 単独通院が困難な利用者や急病の利用者に対して、通院解除及び、入院時の支援を行なった。
3. インフルエンザ等の流行がなかった反面、感冒による内科通院、慢性疾患による耳鼻科や歯科通院の件数が増大した。
4. 疾病の予防
  - ①朝礼時のストレッチ運動とラジオ体操。15時のラジオ体操。
  - ②感染予防対策として、手洗い、うがい、手指消毒の励行。
  - ③外部来所者に対して、手指消毒による感染予防を働きかけた。
5. 異状の早期発見  
各種の健康診断結果にもとづき、要精検、治療方法、予防方等を個々に説明を行い、早期受診・治療を促した。
6. 病状管理の徹底
  - ①検査・治療の必要性・方法を説明し、診察・検査等の通院介助を行った。
  - ②服薬管理の徹底（薬の一包化・個別対応の工夫）。
  - ③健康状態の職員への周知徹底、生活支援員、家族との連携。

#### 二 成果

医務室、相談室の移設により、作業場に近いところでの生活支援と健康管理の一化が実現した。

#### 三 課題

1. 救急時の「個人別救急用カルテ」（仮称）の早急な作成。
2. インフルエンザ等の流行に備えた静養室の準備。

#### 四 実績

##### 1. 利用者の健康診断等の実施状況

期日	実施内容	対象者	人数	実施者等	実施場所
毎月1回	嘱託医健診	希望者(8・2月は全員) マラソン出場希望者	延182	洛西寮嘱託医	洛西寮医務室
	寮内健診	全員	延462	洛西寮看護師	洛西寮医務室
5月	胃癌検診	40才以上	5	京都がん協会	洛西保健所
	大腸癌検診	40才以上	5	京都がん協会	洛西保健所
6月	歯科健診	希望者	10	京都府歯科医師会	洛西寮医務室
7月	基本健康診査	全員	39	京都工場保健会	洛西寮
11月	子宮癌検診	20才以上女子	2	医療機関	洛西NT病院
12月	眼科健診	希望者	11	医療機関	洛西NT病院
12月、1月	乳癌検診	30才以上女子	4	京都がん協会	洛西保健所

## 2. 健診結果とその後の状況

月日	健診	対象	受検者	異常なし	指示	所見あり	精検後異常なし	精検後異常あり	経過観察
5.9	胃がん検診	40歳以上	5	3	2	2	2	0	0
5.9	大腸がん検診	40歳以上	5	5	0	0	0	0	0
6.1	歯科健診	希望者	10	3	7	7	0	0	0
7	耳鼻科検診	希望者	20	20	0	0	0	0	0
9.28	基本健診	全員	39	8	16	31	1	1	31
11.8	子宮がん検診	20歳以上女性	2	2	0	0	0	0	0
11	聴力検査	指示者	7	6	0	1	0	0	1
12.20	眼科検診	希望者	11	11	0	0	0	0	0
12.7	乳がん検診	30歳以上女性	2	2	0	0	0	0	0
1	耳鼻科検診	希望者	25	25	0	0	0	0	0
1.20	乳がん検診	30歳以上女性	1	1	0	0	0	0	0

## 3. 嘱託医による健診

月日	健診	対象	受検者	実施場所
4.4-6	嘱託医健診	医師の指示者	7	塩見内科
3.26-30	嘱託医健診	医師の指示者	7	塩見内科

## 4. 予防接種

月日	予防接種	対象	接種人数	実施場所
11.15	インフルエンザ予防接種	希望者	22	洛西寮医務室

## 5. 利用者の学習会の状況

月日	学習会	対象	参加者	講師	実施場所
6.1	歯磨き指導	希望者	10	歯科衛生士	洛西寮会議室

## 6. 通院件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
22	34	39	72	37	44	53	60	49	57	60	39	566

### (4) スポーツ行事

#### 一 概要

1. 施設が共催する視覚障害者京都マラソン大会に7名の利用者が参加し全員が完走した。
2. 大会出場に備えた練習は、異常気象などで例年より少なかった。

#### 二 成果

施設地域の市民から伴走支援ボランティアの申し出があった。

### 三 課題

1. スポーツ行事がマラソン大会のみで他のスポーツへの参加機会の確保が必要。
2. 日常的な生活支援プログラムの中で、もっとスポーツを取り入れた支援が必要。

### 四 実績

施設が参加したスポーツ行事

実施日	大会名	会場	参加者
3.4	第28回視覚障害者京都マラソン大会	西京極陸上競技場	利用者7名

## エ. 自治活動支援

### (1) 洛友会

#### 一 概要

1. 会長の突然の逝去により、会長再選・役員補欠選挙を行った。
2. 役員経験の少ないメンバーのため、議題等がスムーズに進行出来ず、戸惑うこともあったが、「みんなが楽しみにしている行事の企画・活動を行う」ことを目標に掲げ取り組んだ。
3. 5月、施設との合同企画「通天閣串カツツアー」、7月紫野文化展洛西寮夏まつりでの「模擬店」出店、ボランティアとの交流会「七夕会」「クリスマス会」を実施した。

#### 二 成果

1. 役員意識の変化から施設への要望懇談会などへの雰囲気盛りが上がった。
2. 紫野夏まつりでは、野菜の仕入れ、模擬店出店など、利用者の参加で大いに盛り上がった。

#### 三 課題

1. リーダーシップをとる利用者が少なく、支援員の指導・助言の比重が増している。
2. 会としての成長を促進するための、役員の育成支援が必要。

#### 四 実績

施設に対する洛友会からの要望事項

1. 旧医務室の有効活用。
2. 静養室の設置。
3. 施設内に喫茶コーナーを設置して欲しい。
4. 通所生の休憩コーナーの設置。

### (2) 美化係

#### 一 概要

1. 週2回のゴミ収集・手洗い石鹸の補充・掃除用具の点検・古紙回収。
2. 毎週金曜日の館内清掃の各階の点検。

## 二 成果

職員の協力を得て、責任をもって館内美化活動を行うことができた。

## 三 課題

1. 年度当初、メンバーを募集するが集まらないため、職員の働きかけが必要。
2. 美化に対する個々の意識に温度差がある。

## 四 実績

1. 各階のゴミ集めとゴミ出し。
2. 雑巾の回収と洗濯。

# III. 主催行事

## 1 第26回紫野文化展「洛西寮夏まつり」

### 一 概要

- ・開催日時：平成23年7月2日（土） 11:00～15:00
- ・会場：身体障害者授産施設 洛西寮
- ・内容
  - ①視覚障害者啓蒙コーナー（陶芸教室・点字体験・箱折り体験・ビーズアクセサリー作り・手引体験・卓球バレー）
  - ②スタンプラリー（景品付き）
  - ③模擬店（焼きそば・たこ焼き・生ビール・ポン菓子実演販売等）
  - ④無料マッサージ体験コーナー
  - ⑤授産製品販売コーナー

### 二 成果

1. 晴天に恵まれ、延べ参加者数が500名を超えた。
2. 地域の方々に農産物のご提供を受け、地域と共に開催する初期の目的を達成することができた。

### 三 課題

1. 施設利用者の主体的な参加の仕方について、人的支援を最優先した体制整備が必要。
2. 受付（事務所）のスタッフの問い合わせに対する受け答えや案内方法の改善

### 四 実績

協賛団体、参加協力サークル一覧

後援	京都府視覚障害者協会、京都市社会福祉協議会、読売光と愛の事業団、京都新聞社会福祉事業団、京都市住宅供給公社洛西事業部
協力	みやびワイズメンズクラブ

## 2 第26回紫野福祉センター研修旅行

### 一 概要

- ・開催日時：平成23年9月15日（木）～16日（金）
- ・行先：兵庫県淡路島方面
- ・内容
  - 1日目：淡路島牧場（乳搾り体験）、イングランドの丘（動物たちとのふれあい体験）
  - 2日目：たこせんべいの里、パルシェ香りの館（ハーブ石鹸作り体験）、フルーツ農園（ぶどう狩り体験）
- ・宿泊先：鳴戸グランドホテル

### 二 成果

1. 全員参加を追求した結果、これまでにない85名の大人数での旅行が実現できた。
2. 直前の台風接近で宿泊先を急に変更しなければならない事態が生じたが、当日の天候、体験内容、宿泊先等の条件にも恵まれ、無事に旅行を終えることができた。
3. ボランティア養成講習会の成果が実って、新規ボランティアの方々の参加協力が多く得られた。

### 三 課題

1. ボランティア支援者の選考については、十分な支援技術及び、利用者の理解に基づいた養成を条件とする必要性がある。
2. 当日の急病などによる施設待期体制の準備が必要。

### 四 実績

過去5年間の旅行参加人数（利用者、職員、ボランティア）

年度	行先	利用者	職員	ボランティア	合計
19	琴平	35人	16人	6人	57人
20	伊勢・鳥羽	34人	15人	7人	57人
21	南信州	41人	20人	9人	70人
22	南知多	45人	24人	10人	79人
23	淡路島	50人	22人	13人	85人

## 3 西京区視覚障害者支援ボランティア養成講習会

### 一 概要

- ・開催日時：5月18日（水）・21日（土） 10時～15時  
（オプション5月25日（水）・28日（土） 14時～17時）
- ・会場：身体障害者授産施設 洛西寮
- ・内容：視覚障害について、弱視体験、アイマスクでの昼食、手引講習など  
（オプション：点字・朗読）
- ・参加者数 22名（洛西寮ボランティア登録者数16名）

1. 西京区社会福祉協議会、京都府視覚障害者協会西京支部との共催で開催した結果、参加者・講習内容、外部講師及び、関係ボランティアサークル等の協力支援が広く得られた。
2. 共催3者で実行委員会を組織し、企画から宣伝、当日の運営まで共同して実施することができた。

## 二 成果

1. 洛西寮でのボランティア講習会の開催が数年ぶりに開催できた。
2. 新規ボランティア登録者16名を迎え、その後の利用者サービスなどにおいて、大きな改善が見られた。
3. 西京区社会福祉協議会が共催に加わって下さったことにより、広範な宣伝と補助金による運営支援を受けることができた。

## 三 課題

1. 養成後の施設側の再講習及び、支援技術向上に向けた学習の場づくり
2. ボランティアコーディネーターの育成と日常の支援前後の相談・支援の体制づくり
3. 養成講習会の継続

## 四 実績

### ボランティア活動実績

月	作業			朗読			点字			手引き			行事			合計		
	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数
4	3	3	8	51	16	121	6	2	6	7	7	18.2	0	0	0	67	28	153.2
5	15	15	41	27	8	78.5	18	4	18	7	7	15.0	10	1	85	77	35	237.5
6	0	0	0	60	16	137	17	4	17	15	15	51.6	0	0	0	92	35	205.6
7	0	0	0	48	12	118.5	11	3	11	15	15	51.6	75	2	278	149	32	459.1
8	0	0	0	60	12	152	13	4	13	7	7	11.2	0	0	0	80	23	176.2
9	13	13	31	48	13	118.25	2	8	8	12	12	19.7	13	1	260	88	47	436.95
10	44	44	113	52	13	158.5	20	7	33	20	20	97.2	0	0	0	136	84	401.7
11	43	43	105	52	12	170.45	20	6	23	14	14	32.5	0	0	0	129	75	330.95
12	0	0	0	48	12	151.75	8	2	8	5	5	10.1	19	1	38	80	20	207.85
1	0	0	0	54	13	160.9	9	2	9	8	8	21.7	16	1	48	87	24	239.6
2	0	0	0	53	12	168.75	16	4	16	9	9	31.9	0	0	0	78	25	216.65
3	0	0	0	54	13	178	13	3	13	9	9	27.6	0	0	0	76	25	218.6
計	118	118	298	607	152	1713.6	153	49	175	128	128	388.3	133	6	709	1139	453	3283.9

※上記の数字は「ボランティア活動日誌」に基づくものです。

ボランティア登録者数55名（平成24年3月31日現在）

## IV. 共催事業

### 1 第45回白杖安全デー

#### 一 概要

- ・開催日：10月2日（日）
- ・会場：JR二条駅B i V i
- ・内容：テーマ「白杖見たら声かけて ～何かお手伝いしましょうか?～」  
啓蒙活動（集会・パレード）
- ・参加者：250名以上

#### 二 成果

1. 視覚障害者からの現状のメッセージ
2. パレードによる歩行者や車へのアピール

### 2 第37回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）

#### 一 概要

- ・開催期間：2012年1月12日（木）～15日（日）
- ・会場：大丸京都店 6階多目的ホール
- ・内容
  - ①絵画コンテスト：小学生を対象にした絵画158枚を展示。
  - ②企画展：見えない・見えにくい人の暮らし紹介
  - ③体験コーナー：点字体験、パソコン点訳、テープおこし、盲人卓球、手引き等
  - ④販売コーナー：関西盲導犬協会、FSトモニー、洛西寮
  - ⑤視覚障害者ボランティア連絡会の展示コーナー
  - ⑥各催し：オカリナ演奏、お箏の演奏、座談会、紙芝居、研究発表、講演など
- ・参加者：1,670人（4日間）

### 3 第29回視覚障害者京都マラソン大会

#### 一 概要

- ・開催日：平成24年3月4日（日）
- ・会場：西京極総合運動公園陸上競技場およびその周辺道路
- ・参加者：7名（洛西寮）

#### 二 成果

参加者全員が完走

#### 三 課題

1. 練習時の手引不足
2. 天候不順による練習不足

#### 四 実績

洛西寮利用者の順位

- ・3Km全盲の部：14位・17位・24位
- ・1Km全盲の部：4位・7位・9位
- ・1Km女子弱視の部：3位

<参考資料>

法人役職員数

理事	評議員	監事
9名	19名	2名

法人職員数

部署名	職員	嘱託職員	臨時職員	合計
事務局	3(兼任者1)	1	1	5名
生活支援部	9(兼任者1)	1	1	11名
	<注> 生活支援部には、看護師、栄養士を含む。			
調理員	0	0	5	5名
施設入所支援の生活支援員	0	0	5	5名
洛西寮小計	12	2	12	26名
紫野点字社	2(兼任者2)	0	0	2名(兼任者2)
失明者巡回生活指導員派遣事業	1(兼任者1)	0	1	2名
三寮指導所	0	1	1	2名
盲人ホーム美鈴	1	0	1	2名
法人合計	14	3	15	32名